



我が輩はトラフズク

令和8年3月23日 No.12 (最終号)
弘前市立第三中学校 (担当: 教頭 前田 達哉)

創造・感動・笑顔

春の葉

目次	はじめに
	「春」について
	見どころ
	その他 (諸注意)

《はじめに》春は入学、入社、クラス替え、転勤など、たくさんの出会いがあります。思えば人は、出会った人に憧れたり、出会った言葉がその後の支えになったり、出会った「もの」に気付かされながら大きくなっていきます。

「出会い」の春へ向かうにあたり、葉を作っておきます。

《「春」について》春分の日を境に明るい時間が長くなり、暖かさとともに植物は芽吹き、桜など花々も咲き始めます。新年度という始まりは、どこか後悔の過去をリセットしてくれる気がして、心を前向きにしてくれます。初めて会う人が多くなります。つい、3月までにあったような人間関係や安心感を得ようとして焦ったり、“前の方が良かった”と嘆いたりしてしまふことがあります。また、これまでも一緒だった仲間と4月からもかたまり過ぎると、周りを避けているように見えますから気を付けてください。春を大事にするために、その場所で始まる一つ一つの活動を丁寧に行ってみてください。活動を通じた人との関わりから新たな関係は広がり、また、安心できる居場所が築かれていきます。

《見どころ》替わった座席から見える景色です。初めて見るもの、見慣れていたものも違って見えるはず。通う道の景色です。初めて通る道、通い慣れた道で春の息吹を探してみてください。新たな係や分担、役割も見どころです。特に頼まれたことには、そのときの「自分」を見ることが出来ます。自分にちょうどいいことが訪れます。大変なことを頼まれたときは、それが出来る人と思われています。これは見どころです。“なんで自分？面倒くさい！”と思ってしまうと見どころを失います。

《その他 (諸注意)》春はアレルギーの季節でもあります。花粉は人を苦しめるために飛んでいるわけではなく、吸った側との相性の問題です。長く花粉症だった私は、相性の悪さから花粉自体を「悪」と思っていました。しかし、腸内環境を整えるといいという話を聞き、取り組んでみたところ、何十年来の症状が治まったのです。自分にもできることがあると考えて取り組んでみると改善することがあります。まるで人間関係のようだと思いました。“違和感”についても触れておきます。買ったばかりのズックの履き心地、新しい自転車のペダルの曲がっている感じ、初めて習った数学の公式の使いにくさ。これらは不慣れからの違和感です。自分にとって“合わない”を告げるものではなく、“新しさ”のサインとして受け取ってみてください。違和感を抱いた途端にやめることは、新しいものや「出会い」を失うこととなります。削ったり、書き足したりしながら、あなたの「春の葉」にしてください。

葉を携えて、それぞれの「春」を歩いていきましょう。
校長 小笠原恭史 (深謝)

「感謝」と「出会い」— 退任者・新任者を紹介します。

「ありがとうございました。」～「よろしく願います。」

□退職者

校長 小笠原 恭史
教諭 日景 睦雄
教諭 佐々木 泰仁
教諭 天 久勝

◇「教職員定期異動」が発表されましたので、お知らせします。

□転出者

教諭 戸澤 康之 (弘前市立第五中学校へ)
教諭 後藤 伸也 (弘前市立南中学校へ)
教諭 高谷 治郎 (弘前市立黒石中学校へ)
教諭 森内 瑠璃 (弘前市立第五中学校へ)
教諭 阿部 大 (弘前市立致遠小学校へ)
非常勤講師 戸濱 和佳 (弘前市立小幡野小学校へ)
特別支援教育支援員 秋田 英一 (弘前市立小幡野小学校へ)

□転入・採用者

校長 藤馬 彦 (弘前市教育委員会より)
教諭 工相 利彦 (弘前市立裾野中学校より)
教諭 外崎 隆生 (弘前市立津軽中学校より)
教諭 竹林 雄二 (弘前市立第一中学校より)
教諭 清藤 雄 (弘前市立第一中学校より)
教諭 小笠原 拓心 (弘前市立北辰中学校より)
教諭 中村 瑛 (新採用)
教諭 対馬 諒 (新採用)
講師 中山 貴元 (弘前市立第四中学校より)
校指導員 長尾 智人 (弘前市立第二中学校より)
非常勤講師 大里 文男 (弘前市立第二中学校より)
事務主任 工藤 優太 (弘前市立石川中学校より)
技能主事 尾留川 剛 (新採用)
校内支援センター支援員 佐々木 美貴 (新採用)

退職・転出する先生方には、大変お世話になりました。ありがとうございました。
転入なさる先生方には、次年度から、よろしく願います。

お礼

今年度も保護者の皆様、地域の皆様には、本校の教育活動へのご理解とご協力をいただき、ありがとうございました。
4月、PTA活動をより円滑に進めて行くために、PTA組織をこれまでの執行部及び各専門委員会から、学年委員会を含めた企画運営委員会へと改編しました。その中で、これまで行ってきた成人教育や保健体育、広報の活動を企画運営委員会の事業として行うことにしました。
夏休みには、成人教育事業として、昨年度に引き続き、校長を講師として「第三中学校の子どもたちの未来に向けて語る会」を開催しました。校長から、現状における成果と課題を踏まえて、データを示しながら、授業に「対話」と「演習+個別添削」を取り入れ、「授業と個別生徒指導」を充実させていくことなど、保護者や地域の方々へ説明することができました。
また、市連Pスポーツ大会や夏休み等の「生活の心得」の作成、PTAのホームページ、三中祭での活動等、たくさんご協力をいただきました。
今後も、家庭(保護者)と学校(教師)がよりよい関係を築き、共に学びながら、生徒たちが充実した学校生活を送ることができるよう、よろしく願います。



(教頭)

4月の予定

*変更になる場合もあります。

3日 (金)	新入学生級発表(13:00~16:00)	17日 (金)	短縮①~④、⑤授業参観 後援会総会、PTA総会、学年・学級懇談会
6日 (月)	出校8:10、新入式、入学式準備 入学式・始業式 ※弁当持参	20日 (月)	短縮①~⑥、生徒会委員会
7日 (火)	平常①~③総合、④全校集会 ⑤学活 ※給食開始	21日 (火)	短縮①~⑥ 3年：全国学力・学習状況調査、尿検査(1次)
8日 (水)	平常①学活、②③身体測定・写真撮影 ④新入生歓迎会、⑤部活動紹介	22日 (水)	短縮①~④、⑤避難訓練 職員会議、校内研修推進委員会①
9日 (木)	平常①全校集会 ②~④各学年認知能力検査、⑤授業	23日 (木)	平常①~⑥ 3年：全国学力・学習状況調査
10日 (金)	平常①~⑤、標準学力検査	24日 (金)	短縮①~⑤、3年：歯科健診 部活動組織会
13日 (月)	短縮①~⑥、生徒会委員会組織会	27日 (月)	短縮①~⑥、3年：内科健診 学校運営協議会①
14日 (火)	平常①~⑥、交通安全教室 いじめ防止対策委員会①	28日 (火)	短縮①~⑥、尿検査(2次)
15日 (水)	平常①~⑤	30日 (木)	短縮①~③、中教研組織会 ※給食なし 下校11:55
16日 (木)	平常①~⑥、1年：心電図検査、3年：耳鼻科健診		

第77回 卒業証書授与式



3月8日(日)、第77回卒業証書授与式を挙行了いたしました。この日、校長から115名すべての卒業生に卒業証書を手渡すことができました。

式は、PTA会長、学校運営協議会委員をはじめご来賓、保護者の方々に見守られ、厳かな雰囲気の中で行われました。

在校生が感じていた卒業生の優しさなどが「送辞」で述べられ、また、「答辞」では、考え、悩みながらも楽しく過ごすことができたことへの感謝が述べられました。

臨席した人それぞれの思いが校歌の歌声となって共鳴し、式場に響き渡りました。温かな卒業式になりました。ありがとうございました。

*ここに「三中」を感じていただきたく『送辞』と『答辞』を掲載します。

送辞

春らしく、うららかな青空が見えるようになったこの頃でしたが、名残を惜しむかのように、今日は雪が降っています。

六百六日。これは、先輩方がこの第三中学校で過ごした日々です。私は、その約三分の二を先輩方とご一緒しました。



入学式の日、新しい環境に緊張し、自分も今日から中学生だというのに、「中学校は厳しいのかな。先輩方はどんな人たちなのだろう。新しいクラスメイトとうまくやっていけるかな。」と不安を感じながら、体育館に入ったとき、温かい拍手が私を迎えてくれました。すごくほっとしたことを覚えています。入部前の部活動見学の時も、中学校に慣れないまま、落ち着かない気持ちでいた私に、手を振りながら「また体験に来て」と言ってくれたこと、たくさん話しかけてくれ、中学校も楽しいところだなと思えたことは忘れられません。私も、後輩に優しく接したいと思ったのは、きっとこの体験があったからです。

卓球部でボールを打つ練習をしていたとき、どうしても胸の前で打つ癖がありました。「もっと足を動かしたら打ちやすくなるよ」とアドバイスをもらい、意識して練習するうちに、安定感が増し、少しずつうまくなることができました。

生徒会でもわからないことだらけで、不安がこみあげてくることもありましたが、「一緒にやろう」「大丈夫だよ」「こうした方がいいんじゃない」と、自然に話し合いの中に誘ってくださり、引退してからも、「何かあったら手伝うよ」と言ってくださいました。毎回、優しい言葉で支えられていたのだと、今、実感しています。

ある朝、いつもより憂鬱な気持ちで学校へ向かった私を、元気な「おはようございます」が救ってくれたこともありましたが、そのあいさつで「今日も頑張ろう」と思えたのです。このことはあいさつ運動を大事にしたいと思わせてくれた体験でした。

言葉もそうですが、先輩方と言えば合唱コンクールでの歌声です。三年生の声は、すごくきれいで、体育館いっぱいに響き、心にしみるようでした。一生懸命歌っていることがわかる、表情の豊かさ、頬の赤み。どこかで頑張ることが恥ずかしいと思っていた私に、一生懸命なことはカッコいいことだと、その歌声で教えてくださいました。私も何事にも頑張れるだけ頑張ってみよう、後輩のいい手本になりたいと思ったのは、先輩方の歌声のおかげです。

三中祭でも、先輩方の掛け声が盛り上げ、明るい雰囲気を作ってくださいました。いつも、声が、言葉が、大事なところで支えたり盛り上げたりしていたと、こうやってふり返ってみるとわかります。

あと数週間で迎える新一年生の入学式に、私たちは先輩方に教えていただいた声で、言葉で温かさを伝えたいです。

それぞれ新しい道を進む三年生の皆さん、新しさには不安も付きまとうかもしれませんが、でも、今、私たち後輩の前にいる先輩方はとても大きく見えます。きっと、未来を切り開いていってくれると信じています。今まで二年間、お世話になりました。ご卒業、本当におめでとうございました。

在校生代表 葛西 恵玲奈

答辞

爽やかな春が訪れ、期待と不安でいっぱいだった「中学校生活」という物語が始まったあの日。あれから三年の月日がたとうとしています。私たちは、今大きな節目の日をむかえようとしています。



本日は、私たち百十五名の卒業生のため、このような晴れやかな式を挙行していただき、誠にありがとうございます。先生方をはじめ、ご来賓の皆様、保護者の皆様、在校生の皆さんの祝福をいただき、旅立ちの日を迎えられることをとても嬉しく思います。

今、これまでの学校生活を振り返ると、たくさんの瞬間がよみがえってきます。

一年生。多くの出会いと経験がありました。行事や部活動といった経験を積み上げていく中で、先輩方が何事にも全力で挑み、団結し、前へ突き進んでいく姿に、強い憧れを抱きました。そして、それこそが自分たちが目指すべき目標なのだとして強く感じるようになりました。

二年生。後輩たちの「先輩」と呼ぶ声に、中学生としての自覚が芽生え始めました。特に、職場体験学習で実際に仕事を体験することにより、働くことの意義を学ぶことができました。そして、将来について真剣に考えるようになりました。後期になると、生徒会や部活動、委員会を先輩方から引き継ぎました。そのとき、痛感したのが、第三中学校の伝統の重さです。そのことが、私たちが成長へと導く大きな原動力となっていったのです。

三年生。何事にも「中学校生活最後」という言葉がついてまわるようになりました。そのことが、私たちに感じさせてくれたことは、最高学年としての責任感と物事を大切に取り組んでいく情熱でした。

今、この先の人生において、取って替えることのできないたくさんの思い出が、卒業という今日に至るまで、私たちの胸の中にあふれています。特に、九月に行われた三中祭では、計画を立てていく中で、たくさんの悩み事が重なり、困ってしまう場面もありました。そんな時、生徒会の仲間たちが、お互いにアイデアやアドバイスを出し合うようになり、一体となって、三中祭の企画や運営を行うようになりました。そして、三年生全体としても、力を合わせ、責務を全うし、第七十六期生徒会テーマである「My color ～輝け個性～」を実現することができたと思います。少しは、頼もしさを一・二年生の皆さんに見せることができたのではないかと思います。

そんな数々の思い出とともに、私たちは成長の歩みを、少しずつ、けれども着実に進めてきました。その中には、たくさんの支えがあったことを忘れることができません。いつも熱心に、一人一人に合った指導をしてくださった先生方。時に厳しく、時に優しく、たくさんの温かい言葉を私たちに注いでくださいました。先生方から学んだことを胸に刻み、私たちはこれからの人生を歩んでいきます。

今まで、本当にありがとうございました。そして、私たちの大切な家族へ。どんな時も優しい瞳で見守ってくれました。くじけそうな時も、勇気を与えてくれました。何より、十五年間大事に育ててくださり、本当に感謝しています。これから、更に成長し、それぞれの個性を輝やかせていくことを約束します。

一・二年生の皆さん。この先には、様々な困難があるかもしれませんが、それでも仲間と話し合い、失敗を恐れず挑戦してみてください。それが「三中の伝統」です。

三年間一緒だった仲間たち。みんなに出会えて本当に良かったです。みんなのことは決して忘れません。これまで、私たちを支えてくださったすべての方々に感謝します。

結びに、今、新たな道に向かって力強く歩き出していくことを決意し、答辞といたします。

卒業生代表 相馬 金志朗